



曾谷公民館で行われた「何でも語り合う議会報告会」特養ホームなど多数の質問が出されました。左が私、隣りが岡田幸子県議（10月28日）

外環代替地を活用し

曾谷6丁目の外環代替地を活用し、特養ホームと保育園建設を求める署名運動が広がっています。市長に署名提出が行われました。

「特養ホームができてくると思ってたけど、ククしてきました」曾谷の議会報告会参加者の感想です。全国一特養ホームが少ない千葉県市川でも970名が待機児童に

1070人に

早く特養ホーム、保育園の建設を



「保育園に入りたいのに入れない」。共働きの増えている子育て世代では大問題です。今年10月現在の待機児童は、1070人になります。大久保市長は「待機児童解消をめざす」と言うものの、公立保育園は1か所も建設せず、民間任せという態度です。政府は「子ども新システム」を推進しようとしています。党市議団は、子どもの命と健康を守り、健やかな育ちを保障する保育環境の整備とあわせて、公有地の未利用地に保育園建設を求め

てきました。

「会」の署名5千筆 市長に提出しました

「特養ホーム待機者ゼロをめざす会」は10月31日、曾谷6丁目の代替地に特養ホームと保育園の建設を求める署名5千筆を市長に提出。土屋副市長が対応し、「安く借りられる定期借地制度があることを社会福祉法人に知らせる検討をしていきたい」と述べました。会の一員として日本共産党も地域で宣伝・署名活動に積極的に取り組んできました。



土屋副市長に署名を渡す会のメンバー（市役所内）

「お泊りサービス」

「通所介護」施設ですが、いま「お泊り

サービス」が増えています。

市内で空き家などを活用し、昼間は通所介護として利用し、夜も寝泊りできる施設です。市川市では63事業中、6つの「お泊り」を実施しています。認知症

や生活保護の利用が多いようです。

県の調査によると防火設備が全くない所や本来は他の用途に使われるスペースに、男女が一緒に雑魚寝しているケースもあるようです。

こうした「貧困ビジネス」が増えるのは特養ホームやショートステイ施設不足が背景にあります。

大野町にある施設



不安定雇用の改善 公契約条例を求める

市役所の 部長「市内で公契約調査委員会を設置」と答弁

4割近くが 不安定雇用

市役所で働く職員の4割近く(2028名)が臨時・非常勤など不安定雇用です。また、2千以上ある業務委託でも競争入札で、雇用環境が悪化しています。



処遇改善 に取り組み

それに対し、管財部長は「8月に市川市公契約調査検討委員会を市内で立ち上げた」と

私は、9月議会の一般質問で、地下駐輪場で働く労働者が時給最低賃金(756円)であり、正社員から6割がパートに変わっている実態を指摘しました。労働者が働く意欲をなくし、市民サービスの低下を招くと主張し、労働者保護の立場から雇用環境の改善と「公契約条例」の早期制定を求めました。

とを明らかにし、労働者保護については「労働条件は労使間で決めるのが基本」としながらも「行政サービスの影響が出てはいけないうちに、地下駐輪場の事例も含め、委託労働者の実態把握や処遇改善に取り組んでいく」と答弁しました。

市川市役所の職員数(2011年度)

正規職員3315人	前年比 - 60人
	13年前 758人
臨時・非常勤2028人 (非正規職員)	前年比 + 79人
	13年前 + 1095人

市川市は「不交付団体」だということをご存知でしょうか。不交付団体とは、「普通交付税が交付されない」団体のこととで、国が認めた「自立した団体」ともいえます。県内は5市。全国では3%しかありません。

ご存知ですか。 市川市は不交付団体

市の「不交付団体」の問題を質問。財政部長は「市税の所得や固定資産税が高いこと」が要因とし、

不利益では「国や県から交付金がない。学校のトイレ改修工事でも交付団体に比べて国の補助率が4.7%も不利。臨時財政対策債も24年度で廃止され、公的資金の繰上償還もできない」などの例をあげました。市川市と比較し、隣の松戸市・船橋市は市立病院や市立高校があります。

市は市民サービスを削減し、市民負担を強化して財政力を高めてきたことも「不交付団体」の要因にもなっています。みなさんはどう思いますか。

道路冠水 住民説明会、市が 今年度対策を約束



(大野町の道路冠水：6月)

万葉植物園通り道路冠水で住民説明会を10月31日、開催。住民が、道路冠水の実態と改善を求めました。市は、これまで排水ポンプを設置し、能力アップも図ってきたことを説明。今後の対策として道路冠水の場所に貯水する穴を掘り、別の排水管を設置する対策工事を今年度実施すると約束しました。

私も9月市議会の一般質問で取り上げ、対策と説明会の開催を求めました。

地割対策 来年度、対策の 予算化を検討

住民から「大野町2丁目のがけ地が崩れないか心配」という声が寄せられました。現地を調査したところ、5m近くあるがけ地(写真)が崩れそうです。ここを子どもたちが通っています。



市の担当者に10月、対策を申し入れました。市は「前から要望がある。来年度、対策の予算化を検討する」と回答しました。

仕事
くらしの
悩み

お気軽に
相談を

連絡先 金子貞作 337-6184 (夜間)

編集後記

朝夕めっきり肌寒くなり、日ごとに、秋の深まりを感じます。冬の足音が、聞こえてくるようです。今年60歳を迎えた人は市川で5500人。11月4日、市の還暦式に参加しました。生島ヒロシ氏の記念講演を聞き、最後に全員でふるさとを合唱して散会しました。



首谷貝塚に咲くコスモス(10月27日)